

# 令和2年 死亡災害発生状況一覧表

宮崎労働局  
令和2年確定

番号	災害発生日	事故の型	起因物	業種	性別	年齢	経験期間	災害の概要
1	1月	激突され	掘削用機械	土木工事業	男	40代	3年	転圧機（重量70kg）を法面下に降ろすため、ドラグショベル（ロングアームのアタッチメントを装着）のバケットとアームの間にワイヤーを掛けて転圧機を吊り上げ、移動していたところ、ドラグショベルが転倒した。その結果、転圧機の荷下ろし作業のため、法面下で待機していた被災者にドラグショベルのバケットが激突した。
2	1月	はさまれ、巻き込まれ	フォークリフト	道路貨物運送業	男	50代	1月	足場材を積載させたトラックを配送先の会社敷地内に被災者は停車させた。その後、配送先の労働者と足場材の荷下ろし作業を行っていたところ、配送先の労働者が運転するフォークリフトのフォークとトラックに被災者は挟まれた。
3	4月	激突され	その他の建設機械等	建築工事業	男	50代	22年	建築現場において、基礎部分のコンクリート打設作業を行っていたところ、生コン打設用に使用していたコンクリートポンプ車の第2ブームが折損し、打設場所の均し作業を行っていた被災者にブームが激突した。
4	5月	墜落・転落	作業床、歩み板	建築工事業	男	70代	30年	牛舎建築現場において、合掌組みを被災者は行っていた。横桁にかけ渡した足場板上で隣の横桁間にかけて渡す足場板を移動させていたところ、足を踏み外し、約3.3メートル墜落した。
5	5月	墜落・転落	荷姿の物	道路貨物運送業	男	60代	28年	倉庫の出荷口に停車したバルク車（飼料運搬車）の運転席に右耳から血を流し、横たわった被災者を同僚が発見した。倉庫内で4段積まれたフレコンバックの上に、フォークリフトに装着したアタッチメントの先端が置かれていたことから、フレコンバックの最上部（高さ約3.3m）に登る最中又は最上部で作業中に被災者は転落し、倉庫床面で頭部を強打したものと推定する。
6	6月	交通事故	トラック	道路貨物運送業	男	60代	30年	志布志港でコンテナ積みトラックに荷物を積んだ被災者が会社へ戻るため都城志布志道路（自動車専用道路）を走行中、中央分離帯を越えて反対車線（被災者側車線）にはみ出てきたトラックと正面衝突した。
7	7月	激突され	立木等	林業	男	50代	5年	杉・ヒノキの皆伐作業現場において、伐採作業を行っていた被災者のチェーンソーの音が聞こえなかったため、同僚が行ってみると、倒れている被災者を見つけた。杉を伐倒した際、既に倒した伐倒木に接触し、その反動で伐倒木の元口が跳ね上がり、被災者に激突したものと推定する。
8	7月	はさまれ、巻き込まれ	コンベア	木材・木製品製造業	男	20代	10年	のこ屑を溜めるサイロに入り、のこ屑の払い出し作業をしていた被災者がサイロ内の下部で稼働しているスクリーコンベアに右腕を巻き込まれた状態で同僚に見つかった。
9	7月	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	建築工事業	男	60代	3年	農業用ビニールハウスの補強工事で、屋外で金物加工、コーキング及び補強取付作業を行っていた被災者が熱中症に罹患した。被災者は8時から作業を開始し、14時40分頃に重症化した状態で発見され、同日死亡した。当日の天気は晴れて、県内は猛暑日であった。
10	8月	はさまれ、巻き込まれ	その他の一般動力機械	その他の商業	男	30代	2年	専用の農業機械で飼料用の稲を被災者は収穫及びラッピングしていた。作業終了時刻後、農業機械のチャンパー部に挟まれている被災者を同僚が発見した。
11	9月	崩壊、倒壊	地山、岩石	土木工事業	男	20代	9ヶ月	台風災害に対応するため、会社事務所に被災者と同僚1名が待機してところ、山の斜面が崩壊し、土砂で会社事務所が川に流された。川床の土砂の中から被災者は発見されたものの、同僚は行方不明である。
12	12月	転倒	トラック	畜産業	男	30代	11年	乳牛を運搬車の荷台から降ろす作業を被災者は行っていた。運搬車の後部で乳牛が立ち止まったため、傾斜25度のスロープ上で被災者は手綱を引っ張っていたところ、乳牛が急に前進し、その反動で被災者はバランスを崩し、転倒した。転倒した際、被災者は地面で後頭部を強打した。
13	12月	転倒	フォークリフト	土石採取業	男	70代	40年	フォークリフトを運転し、被災者はコンクリートブロック（高さ約1m×幅約1m×奥行き約1m、重量約2t）を運搬していた。勾配約10度の斜面をバックしていたところ、フォークリフトが法面に乗り上げ、横転し、被災者は運転席から投げ出された。